

2014 年度活動計画

○避難者を含む子育て支援拠点の開設

1 倉敷市南中学校区における子育て支援サロン活動

①活動目的

子育ての孤立感を解消するために、子育て支援サロン活動を実施

※倉敷市内で唯一、常設の子育て支援拠点のない南中学校区で開設

※連携団体【子育てサロンふわりん】【NPO法人子育て応援ナビぽっかぽか】が事業内容についての助言、事業実施に当たっての協力を行う

②開催日 平成 26 年 9 月～平成 27 年 2 月 週 2 日ないし 3 日

③場 所 倉敷市南中学校区内の借上げ民家

④対象者 ・地域内および周辺地域のおおむね 3 歳未満の子どもとその親
・東日本大震災により倉敷市周辺に避難・移住してきたおおむね 3 歳未満の子どもとその親
(利用者数 1 日おおむね 10 人程度、年間のべ 500～700 人程度)

2 倉敷市南中学校区における子育て支援団体の応援活動

①活動目的

子育て支援に取り組む、地域に拠点のない小さい団体（親子サークルなど）が活動しやすいように活動場所を提供

②開催日 平成 26 年 9 月～平成 27 年 2 月 月 1～2 日（全 6～12 日）

③場 所 1 ③の開催場所に同じ

④対象者 地域内および周辺地域の親子を対象として子育て支援の活動をしている地域に拠点のない団体

3 東日本大震災による避難者支援活動

①活動目的

避難者の孤立を防止するために、情報提供、相談対応を行う

②開催日 1 ②の開催日と同じ

③場 所 1 ③の開催場所に同じ

④対象者 東日本大震災により倉敷市周辺に避難・移住してきた方および避難・移住を希望している方（利用者数 年間のべ 10～30 人程度）

○よりはぐカフェ（お料理広場）

避難・移住してきた親子と地元の親子とのつながりづくりのきっかけとなるように、地元の食材を使ったお料理広場を開催する。

一緒にお料理をつくってくださるのは、自然食品のお店「元気屋」で長年調理をされていたりんこさん。

自主事業 月 1 回、公民館の調理室で開催。託児なし。

備前県民局協働提案事業

対象者：避難・移住してきた親子、地元の親子、両方

活動目的：子育ての孤立化防止、地域の託児ボランティア発掘による子育てしやすい地域環境づくり、学生など若い世代の子どもとのふれあい

場所と開催日：倉敷市南公民館の調理室で、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月、1 月、2 月に各月 1 回、託児つきで開催。

ほかに、備前県民局内 2 か所の公民館の調理室で、9 月～2 月にそれぞれ 3 回ずつ託児つきで開催。

○「ほっ♪とハウスくらしき」運営

対象者：原発事故により、健康への放射能の影響を心配する家族

活動目的：心身のリフレッシュおよび移住の支援

内容：短期滞在のための住宅の運営、情報提供、相談対応

○「うまれる」上映会 倉敷市市民企画提案事業

実行委員会形式で、ドキュメンタリー映画「うまれる」の上映会を企画運営する。実行委員会に参加、協力する子育てを応援したいという思いのある、地域の多様な組織・個人のゆるやかなネットワークづくりを行う。

上映会日程：7 月 13 日（日）13：30（13：00 開場）～15：30

場所：くらしき健康福祉プラザ プラザホール

定員：250 名 参加費：無料 託児あり

○避難・移住者自主企画支援

避難・移住者が同じ境遇の方々のために役立つ取り組みを自主的に企画実施することを費用面で応援する。1 件につき 10,000 円。年間 10 件までとし、広く避難・移住者に広報できる企画を対象とする。

○よりはぐ便り

活動の様子や子育てに役立つ地域情報などを伝える通信を概ね年 2 回発行する。

○寿朗の郷

岡山で農作物を育て収穫して、福島県伊達市の団体を始め、東日本で震災以降の食に不安を抱えている方に贈る。それを通じて、お互いに顔の見えるつながりづくりになる。

○ファミサポ利用支援

倉敷市内に避難・移住してきた親子を対象に、困ったとき、助けのほしいときに、ファミリーサポートを利用しやすいよう、利用料の一部補助をする。
ひと家族、年間、５００円×１０時間を上限とする。

○物資支援

他団体と連携して、随時対応する。

○相談対応

随時、関係機関に協力をいただきながら、避難してきた方の相談に対応する。